

2022年7月13日  
吉田海運グループ  
コンプライアンス室

➤ 輸送の安全に関する基本的な方針

社是の『安全第一』に基づき

1. 輸送の安全確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を全社員に周知徹底する
2. 「安全運転の基本8則」「危険予測10則」を完全に実施する
3. 会社組織全体で輸送の安全に関するPDCAサイクルを回すことにより、たえず安全性の確保及び向上に努め、陸上交通輸送機関としての社会的責任を果たす
4. 統計的な考え方や数値による事実のチェックを重視し、マネジメント並びに全社員に対するフィードバックを通じて絶えず改善を行い安全を確保する
5. 輸送の安全に関する内部監査を実施し、是正措置を講じると共に、安全管理体制の継続的改善を実施する
6. 関係法令等を遵守する
7. 輸送の安全に関する情報について積極的に公表する

➤ 輸送の安全のために講じた措置

- 安全大会の開催（2021年11月－2022年7月実績）

過去の事故検討を始め、取り組みの結果発表や講師を招いた安全教育など各拠点年間2回を目安に運輸安全マネジメント会議を包括する形で開催しています。

2022年1月4日（火）愛知営業所、三重営業所、兵庫営業所、  
岡山営業所、広島営業所

2022年1月5日（水）栃木営業所

2022年1月15日（土）千葉営業所

2022年2月26日（土）県央営業所、長崎営業所

2022年7月2日（土）栃木営業所

2022年7月9日（土）千葉営業所

- 内部監査の実施（2021年11月—2022年7月実績）

愛知営業所、三重営業所、栃木営業所、茨城営業所、兵庫営業所、広島営業所、千葉営業所、岡山営業所、石川営業所、山口東営業所、福岡営業所、北九州営業所、防府営業所、神戸営業所、山梨営業所、香川営業所、小倉北営業所、西諫早営業所、本社営業所[運輸部門]、県央営業所、雲仙営業所、長崎営業所、大阪東営業所、長野営業所

➤ 輸送の安全に関する目標

- パトロールによる社則違反指摘の減少

社内人員による運行ルートのパトロールを強化し、社内で規定した安全運転の基本社則違反を減少させることを目標としています。社内規則の主なものとしては第一通行帯走行や駐車時の歯止めなどに加え、道路交通法に準じたものを含めた約10項目を掲げています。

2019年6月～2020年5月 指摘率 1.49%

2020年6月～2021年5月 指摘率 1.77%

2021年6月～2022年5月 指摘率 1.82%

前年比微増しています。

パトロールの強化とそれによる指導は今後も継続してゆく方針です。

※数値は吉田海運グループ全体のものとなります。

➤ 自動車事故報告規則第2条に規定される事故

- 1件（2021年4月から2022年3月）

➤ 2020年と2021年の平均燃費の比較(車種別) ※2022年7月時点

車種	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
ユニック	+7.69% ↑	-2.78% ↓	+10.62% ↑	-1.24% ↓
ダブルトレーラー	+7.93% ↑	-4.64% ↓	-2.34% ↓	-4.72% ↓
シングルトレーラー	-2.95% ↓	-1.10% ↓	-1.99% ↓	+1.21 ↑
4Tトラック	+4.20% ↑	+6.23% ↑	+0.92% ↑	+2.28 ↑
15Tトラック	+7.31% ↑	+0.55% ↑	+1.65 ↑	+5.16% ↑
全体	+5.06% ↑	+0.57% ↑	-1.44% ↑	+1.22% ↑

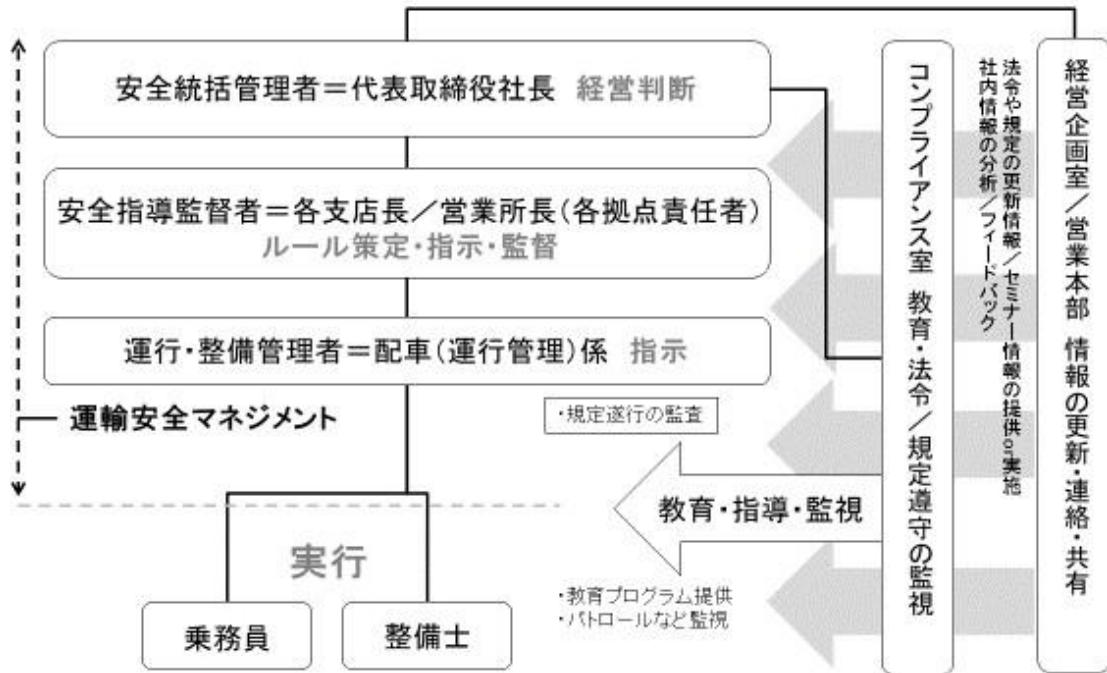
※数値は吉田海運グループ全体のものとなります。

※上記の割合(%)は2020年を基準に比較した2021年の伸び率を示しております。

一 ふんわりアクセルなど制動をコントロールすることで自動車事故が減少するというデータから、指導の効果を見るためにその結果としての燃費を確認しています。全体を通して見た結果、増減はありながらも燃費向上が見られますので一定の効果は出ていると判断できますが、車種別に注視して更に指導を強化して参ります。

➤ 輸送の安全に係る組織体制

## 吉田海運株式会社 安全に関する組織体制



以上